

1. はじめに	
委員長	あいさつ
2. 議事	
(1) パブリックコメントの結果について	
委員長	議事について事務局より説明を。
事務局	～パブリックコメントの結果について～
委員	パブリックコメントを経て前文が読みやすくなった。
委員	時間がない中、委員のみなさんの粘り強さのおかげでいいものになった。 委員会に参加してよかった。
委員	「自治会」という言葉が出てくる。小郡では以前から「行政区」という表現が定着している。自治組織としての自治会だということを共有する必要がある。
事務局	今後、地域に入って条例の内容を粘り強く説明していくしかないと考えている。
委員	「校区協働のまちづくり協議会」と「自治会」と、それぞれの役割をしっかりと議論する時期にきていると思う。
事務局	条例説明会で、地域コミュニティや市民活動団体など、お互い知らないこと点が多いことがわかった。それぞれがフラットな関係だということを前提に、引き続き相互理解を深める機会を作っていきたい。
委員	パブリックコメントを通して、委員会だけでは気づかなかった点の指摘があった。 いいものになっている気がする。
委員	委員会に参加して、それぞれの担い手の立場や、条例で使用する言葉のとらえ方やまちづくりの感覚の違いがあることがわかった。条例をとおして、それぞれがその違いについて考えるきっかけになればいいと思う。
委員	言葉がわかりやすくなった。 パブリックコメントは別の視点で指摘があり、新しい風が通ったよう。これからのまちづくりが期待できるというコメントもあり、嬉しく思った。
委員	説明会でも「ちょうどいい」という言葉に反応があり、条例の表現が共有されたようでうれしかった。 自分の活動の原点は婦人会からだったが、時代の流れと共に変わっているものの、その時その時でいいことがあった。まちづくりは、そういった変化やふとしたことを話し合っていくことが必要だと思う。
委員	前回の会議では、揺れる場面があったが、最終的には委員のみなさんとしっかりと積み重ねたことが反映されていると思う。今まで、条例づくりなどの作業は、自分に

	関係のないところで行われているようだったが、まちづくり講座の受講を経て、このような場にいられて感謝している。
委員	パブリックコメントは貴重な意見で、委員会でも見落としていたことに気づかされた。前文もまとまったように思える。私は市民活動の側で活動しているが、「自治会」や「まちづくり組織」のことを知らないことがある。これからは、お互いのことを共有しながら進めていく必要があると思った。 条例文も余白を感じられる内容になっており、これまで会議を積み重ねてきてよかったと思う。
(2) 条例(案)について	
委員長	みなさんのパブリックコメントの感想をふまえ条例案は、事務局案のとおりとしたいと思う。
(3) 答申(案)について	
事務局	～答申(案)について～
委員長	議論の経過からも、委員会答申の付託事項として、「条例の見直し」に関する記載をいれて提出したい。その他にあれば。 なければこの案で答申をしたい。
事務局	答申案を再度法制部局に確認した上で、市の条例案としたい。
(4) 今後のスケジュールについて	
事務局	～今後のスケジュールについて～
3. その他	
事務局	次回会議は10月13日(木)
4. 連絡	
5. おわりに	
副委員長	あいさつ